

平成 29 年度 国内需要安定化事業
「ツーリズム EXPO ジャパン 2017 出展業務」
企画公募型コンペティション 仕様書

平成 29 年 7 月



1 業務の目的

沖縄県及び一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下、「OCVB」という。）は9月22日～24日の期間で開催予定である世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン 2017」に出展する。この大型イベントを活用し、「旬香周島おきなわ」をテーマに来場者それぞれが自分なりの旅を見出せる演出を行い、沖縄における様々なコンテンツを首都圏在住で旅に関心の高い層へ向け発信し、その魅力に直に触れる機会を創出する。本業務においては、当該催事出展におけるブースの装飾、施工並びに効果的な展開を図ることを目的とする。

2 業務の概要

本業務は、「ツーリズム EXPO ジャパン 2017」を活用し、沖縄の魅力に直に触れる機会を創出し、沖縄ブースにおいて来場者一人ひとりが楽しめ、かつ、多くの来場者を惹きつけ、印象に残るブース展開をすることで旅行需要の喚起を促すための総合演出を行う。

3 イベント詳細

名 称：ツーリズム EXPO ジャパン 2017

主 催：公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）
日本政府観光局（JNTO）

日 程：2017年9月22日（金）～24日（日）／3日間

9月22日（金）展示会 [業界・プレス日]

9月23日（土）展示会 [一般日]（オープニングセレモニー、表彰式）

9月24日（日）展示会 [一般日]

※9月22日（金）は業界関係者、プレスのみ入場

会 場：東京ビッグサイト 東展示場棟全館、会議等

東京都江東区有明 3-11-1

ウェブサイト：<http://t-expo.jp/>

出展ブースの展開日程、作業期間

9月20日（水） 作業期間（9：00～20：00） ※20：00～23：00 は有料

9月21日（木） 作業期間（9：00～20：00） ※20：00～23：00 は有料

9月22日（金） 業界日（B to B） 10：00～18：00 作業期間（8：00～9：30）

9月23日（土） 一般日（B to C） 10：00～18：00 作業期間（8：00～9：30）

9月24日（日） 一般日（B to C） 10：00～17：00 作業時間（8：00～9：30）

撤去作業期間（17：00～21：00） ※21：00～23：00 は有料

4 業務委託の内容

業務委託の内容は次のとおりとする。

(1) 沖縄観光ブースレイアウト作成及び空間演出。

(2) ブース運営及び管理。

① 当日運営スタッフの手配（受付、誘導、ステージ進行係、その他）

② 出展者管理、調整

③ イベント開催中のリスクを保証する保険への加入

(3) ブース内で実施するステージイベント、ワークショップの管理運営。

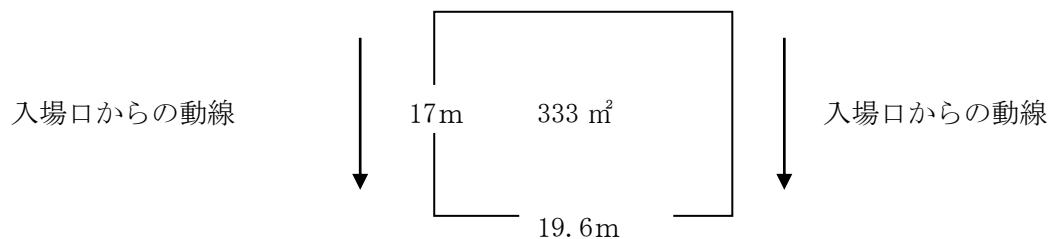
- (4) 抽選会をフックとしたアンケートの実施。
- (5) 具体的な効果測定を図る手法の提案。
- (6) 委託事業全体を統括する担当者 1 名以上の配置。
- (7) 業務完了報告書の作成。
 - ・実施内容や事業効果とともに、業務の分析・報告を取りまとめること。
 - ・業務にかかった費用内訳及びその支払を証明する証憑書類（見積書、納品書、請求書、領収書、根拠資料等）を提出すること
- (8) その他、業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

5 企画提案内容

業務の目的を遂行するためテーマに添った効果的な展開内容を提案すること。沖縄観光ブースについての詳細は下記のとおりとする。

【沖縄観光ブース詳細】

- (1) 沖縄観光ブーススペース 1 スペース 9 m²×37 スペース 333 m²



- (2) レイアウト割合 37 小間を 100%とした場合
- 沖縄本島及び離島観光情報コーナー 60%
（国内及び海外向け。スポーツツーリズム・リゾートウェディング等含む）
 - 沖縄美ら島財団 20%
 - イベントステージ 10%（プロジェクションマッピングと併用を想定）
 - ワークショップ 10%
 - ※上記割合はあくまで目安とし、若干の割合変更は可能とする。
 - ・東 5 ホール日本エリア

【企画提案内容】

- (1) 沖縄観光ブースレイアウト作成及び空間演出。
 - ① OCVB 展開イメージを考慮したブースレイアウトの作成及び空間演出。
 - ア. プロジェクションマッピングの作成及び活用
参照) <https://www.youtube.com/watch?v=fxJmjKXIMAM>
 - イ. ノスタルジックな沖縄を表現する統一感を持たせた演出、装飾
 - ウ. 来場者が自分なりの旅の行程を作成し持ち帰れるなど、ブース全体を楽しみながら回遊させる参加型の施策提案
参照) <http://gohoubi-hawaii.com/>
 - エ. 県内事業者から提供される各種パンフレットの効果的な活用方法の提案
※提供の案内は OCVB から行うが、提供者が決定次第本業務受託事業者にて対応すること
 - オ. ブースデザインの作成にあたっては沖縄観光ブランドロゴ「Be. Okinawa」を入れ込んだデザインとすること。
 - カ. 出展者ブースは下記を基本セットとすること
バックパネル：W1,485×H2,700 宣伝物設置台：W120×D600×940、電源：100V 300W×1 口
 - キ. ブース並びに造作物のデザイン、材質、色、形状等に沖縄らしさと洗練性を感じることができ設計施工及び造作とすること。トラス等の部材がむき出しになるような装飾は提案しないこと

- ク. 9月22日の業界日のみ会場内に商談に適切なスペースを設けること。(一般日には撤去すること)
- ケ. 出展スペースを有効に活用できるレイアウトとし、総合案内コーナー、県内出展者ブース(22ブース程度) ステージ、ワークショップスペース、モニターの設置、ストックヤード、その他企画の実施に要するスペースを設けること
- コ. スtockヤード及び会場内レンタルルームを効率的に使用できるような提案を盛り込むこと。
- ※パンフレット等の一時保管場所及び着ぐるみ、ステージ出演者の控室を想定
- ② ブース内ステージイベントの提案
OCVB からエイサー団、琉球舞踊の2種類の派遣を予定(受託事業者費用負担なし)
- ③ ワークショップの企画提案
本県への旅行動機を促すようなワークショップの提案
- ④ 抽選をフックとしたアンケートの実施
ア. アンケート回答者に対する特典を提案すること(4,500名分。22日業界日を含む3日間)
イ. アンケート項目は事業受託後 OCVB と協議の上内容を決定する
- (2) 効果測定
- ① 沖縄観光ブース来場者数を図れる手法の提案
- ② 話題性を高めパブリシティ増大を狙い、広告換算額を計測できる仕組みの提案

6 成果物等

受託事業者が提出すべき成果物等は表1のとおりとする。

表1 成果物等一覧

項 目	内 容
業務完了報告書	本業務における展開内容及び効果測定などを含む報告書をデータ及び出力された資料2部
その他	業務に伴い作成した成果物 5部

7 スケジュール

受託事業者は平成30年1月31日(水)までに成果物及び業務完了報告書を提出すること。

8 瑕疵担保責任

OCVB への引き渡し日から起算して1年の間、成果物に瑕疵があるときは、受託事業者は無償で当該成果物の修補を行うこと。

9 著作権・特許等

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、すべての著作権(著作権法第27条及び28条に定める権利を含む財産権)を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前 OCVB の承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第18条から第20条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及びOCVB 内での利用若しくは沖縄県又はOCVB が観光振興に資すると判断した上で第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。
- (4) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (5) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含めすべて受託事業者において責任を負うものとする。

- (6) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (7) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開が出来ないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

10 注意事項

- (1) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容をすべて実施することを保証するものではない。
- (2) 本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。
- (3) 掲載内容の情報については、受託事業者が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- (4) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (5) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。
- (6) 業務を実施するにあたり、委託業務全体を統括し必要に応じて OCVB と速やかに連携を行うなど業務を円滑に履行することが出来るよう、担当者を 1 名以上配置すること。

以上